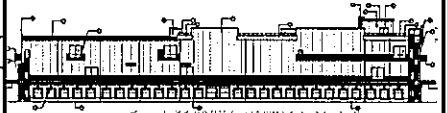


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) (株)武蔵野京都工場増・改築	階数	地上3F
建設地	京都府八幡市戸津水戸城12,55,308	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	918 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年2月13日
敷地面積	31,098 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	5,304 m ²	確認日	2018年2月14日
延床面積	14,544 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能に配慮している。・緑地を設け、敷地外環境への配慮を行う。・省エネ性能に配慮し、エネルギーの高効率化に努めている。・資源、マテリアルの確保に努めている。・地球温暖化防止に努め、敷地外環境への配慮を行っている。 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・高い昼光率、照度を確保している。 ・内装材にF☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮している。 ・換気性能の確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天井高を確保し、広さ感に配慮している。・リフレクティブガラスを確保している。・制振性能への配慮を行っている。・耐用年数の長い部品部材の採用に努めている。・階高、壁長さ比率を確保し、空間のゆとりに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地、緑化ブロックを設けて外構緑化を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明を採用し、設備システムの高効率化に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水性能への配慮を行う。 ・解体時におけるリサイクル性に配慮している。 ・防水工事はプライマーを採用し、化学物質の使用削減に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備システムの効率化に努め、LCCO₂排出率を削減し、地球温暖化防止に取り組んでいる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される